

第37回

# ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



農林水産大臣賞

図画3部 「うまぐなれ」

山形市立第九中学校3年 志田 葉月 さん



平成25年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部



◆ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会会長 長 澤 豊…………… 1

◆作文・図画コンクール入賞一覧…………… 2

◆図画部門

農林水産大臣賞…………… 3

図画 1 部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 4

図画 2 部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 5

図画 3 部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 6

◆作文部門

作文 1 部／全国優秀賞・山形県知事賞…………… 7

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 8

作文 2 部／全国優秀賞・山形県知事賞…………… 9

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 10

作文 3 部／全国優秀賞・山形県知事賞…………… 12

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 14

◆審査講評…………… 16

作文部門審査講評 山形市立千歳小学校校長 大宮とき子

図画部門審査講評 東根市立大森小学校校長 元木 正史

◆第26回～第37回 入賞一覧…………… 18

◆審査経過の概要…………… 20



## ごあいさつ

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さんに、心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

三十七回目を迎えた今回は、県内の小・中学校から作文三二二点、図画七六九点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦するとともに、県コンクールにおいても、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。全国コンクールでは、図画部門で農林水産大臣賞、作文部門で優秀賞を三点受賞するという素晴らしい成績を収めました。これもご指導いただきました学校の先生方をはじめ、保護者の皆様、審査員の先生方、そして山形県ならびに各J Aのご支援・ご理解の賜と心から感謝申し上げます。

このコンクールは、これからの食・農を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般についての学びを深め、稲作農業の多面的機能とお米・ごはん食の重要性を広く周知するために実施しております。

今回の皆さんの作品は、米作りのお手伝いを通じて感じた家族への感謝の気持ちを表現したものや、田んぼや稲をよく観察して思いをふくらませたもの、さらには、収穫そして食べる喜びを思い切り表現したものなど、個性豊かで素晴らしいものばかりでした。これからも日常生活の中にあるふとした豊かさに目を向けてください。そして、それらを支えている多くの人たちの苦労や努力を感じ、感謝の気持ちを忘れないでください。

さて、日本の食料自給率は三九%と、先進国の中では最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくな

## 山形県農業協同組合中央会

会長 長澤

豊

ることが心配されており、それぞれの国が食料自給率を向上させることが大事なことだと考えています。

昨今、TPPと呼ばれる貿易協定について、日本も参加すべきでないかとのさまざまな意見がだされております。TPPとは太平洋を囲む国々が、すべての関税をなくし自由な貿易を行うとする協定のことです。もし、日本がTPPに参加すれば、広大な農地をもつ国々からの輸入農畜産物が店頭に大量に流れ込み、日本の農業は大きな打撃を受けてしまいます。さらに、田畑の荒廃や今以上に食料自給率が低下するなど、農業はもろろんのこと、医療や保険など国民の生活にも大変な影響を与えることとなります。J Aグループは、TPP参加に反対し、わが国の食料・農業・農村を守るための運動を、農林水産団体や消費者団体、その他さまざまな団体とともに取り組んでいます。

一昨年の東京電力福島第一原発事故以降、放射性物質への不安が広がっています。J Aグループでは、県の放射性物質検査を踏まえ、安全・安心な農畜産物を日々皆さんののもとにお届けしております。

また、私たちJ Aグループは、消費者のみならずと一緒になって、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを考え行動する「みんなのよい食プロジェクト」に取り組んでいます。日本人の主食である米をはじめとした日本型食生活の推進、地場産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大、小・中学校給食における国産農畜産物の提供や食農教育の推進に向けた取り組みに、今後一層努力をしてまいります。

最後に、皆様のご協力により、当コンクールをますます発展させていただきますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

# 第37回 「ごはん・お米とわたし」

## 作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

### 全国審査における入賞者

#### ○農林水産大臣賞

(図画 3 部) 志田 葉月 山形市立第九中学校 3年

#### ○学校奨励賞

山形市立第九中学校

#### ○全国優秀賞

(作文 1 部) 伊藤 風牙 鶴岡市立朝日小学校 1年

(作文 2 部) 井上 瑞貴 山形市立西小学校 6年

(作文 3 部) 松寄 大吾 米沢市立第四中学校 1年

### 山形県審査における入賞者

#### 作文部門

##### ●1部 (小1年～3年)

山形県知事賞 伊藤 風牙 鶴岡市立朝日小学校 1年

山形県農協中央会会長賞 佐竹 巧 山形市立千歳小学校 1年

優秀賞 早坂 大翔 大蔵村立大蔵小学校 1年

朝倉 愛子 南陽市立梨郷小学校 2年

丸山 美優 鶴岡市立羽黒第二小学校 2年

渋谷 結 鶴岡市立大網小学校 2年

佐藤 光 鶴岡市立鼠ヶ関小学校 2年

##### ●2部 (小4～6年)

山形県知事賞 井上 瑞貴 山形市立西小学校 6年

山形県農協中央会会長賞 笹本 悠奈 庄内町立立川小学校 6年

優秀賞 池田 結 庄内町立余目第四小学校 4年

會田 空翔 山形市立出羽小学校 5年

森 優奈 米沢市立興讓小学校 5年

佐藤みのり 庄内町立余目第一小学校 5年

齋藤 結月 鶴岡市立羽黒第二小学校 6年

##### ●3部 (中1～3年)

山形県知事賞 松寄 大吾 米沢市立第四中学校 1年

山形県農協中央会会長賞 我妻隆太郎 米沢市立南原中学校 2年

優秀賞 須貝 麗夢 米沢市立第四中学校 1年

小野寺拓海 鶴岡市立朝日中学校 1年

高内 滯奈 山形市立第三中学校 2年

井上 れな 鶴岡市立朝日中学校 3年

遠藤 美月 鶴岡市立朝日中学校 3年

#### ●学校奨励賞

鶴岡市立朝日小学校

米沢市立第四中学校

#### 図画部門

##### ●1部 (小1～3年)

山形県知事賞 押切 零旺 尾花沢市立高橋小学校 3年

山形県農協中央会会長賞 渡會 圭悟 尾花沢市立尾花沢小学校 1年

優秀賞 三浦 匠悟 尾花沢市立高橋小学校 1年

小林 由侑 尾花沢市立尾花沢小学校 2年

伊藤 拓磨 尾花沢市立鶴子小学校 2年

西尾 真央 尾花沢市立荻袋小学校 3年

叶野 空和 鶴岡市立羽黒第二小学校 3年

##### ●2部 (小4～6年)

山形県知事賞 渡辺 成美 尾花沢市立福原中部小学校 5年

山形県農協中央会会長賞 日下 和也 高島町立高島小学校 4年

優秀賞 長永 千佳 庄内町立立川小学校 4年

吉田京次郎 山形大学附属小学校 5年

柴田 唯斗 天童市立津山小学校 5年

砂田 千夢 鶴岡市立栄小学校 5年

東海林玲奈 尾花沢市立福原中部小学校 6年

##### ●3部 (中1～3年)

山形県知事賞 高橋 綾香 山形市立第九中学校 3年

山形県農協中央会会長賞 竹田夏奈子 山形市立金井中学校 2年

優秀賞 平間 杏奈 山形市立金井中学校 1年

秋葉ひなの 山形市立金井中学校 2年

渡邊 美佑 山形市立第九中学校 3年

平吹 百恵 山形市立第九中学校 3年

鎌田美乃里 山形市立第九中学校 3年

#### ●学校奨励賞

尾花沢市立福原中部小学校

山形市立金井中学校

# 農林水産大臣賞

図画3部



「うまぐなれ」

山形市立第九中学校3年

志田葉月

■山形県知事賞■

「さあ！しゅうかくだ」

尾花沢市立高橋小学校三年

押切零旺



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「おいしいおにぎりいただきます」

尾花沢市立尾花沢小学校一年

渡會圭悟



■山形県知事賞■

「いねかり機に乗せてもらったよ」

尾花沢市立福原中部小学校五年

渡辺 成美



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「おにぎろびろびろ」

高島町立高島小学校四年

日下 和也



■山形県知事賞■

「収穫」

山形市立第九中学校三年

高橋綾香



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「黄金色の稲穂」

山形市立金井中学校二年

竹田夏奈子





## ■全国優秀賞・山形県知事賞■

### たん生日プレゼントはしんまい

鶴岡市立朝日小学校一年 伊藤 風牙

九月二十七日は、ぼくの七さいのたん生日です。ことは、おじいちゃんとおばあちゃんがぴかぴかのしんまいでごはんをたいてくれました。ことしのおこめは、ぼくも手つだつてつくったはじめてのおこめです。

はるには田うえを手つだいました。おじいちゃんといっしょに田うえきにつて、なえがちゃんとうえてあるかみました。おじいちゃんは田うえをするまえにいろいろなじゆんびをしていました。まずなえをつくるそねに土をいれて、たねをまいていました。

「あしやこしがいたい。」  
といいながら、大きなあせをながしてがんばっています。それから田んぼをトラクターでおこして、しろかきをしていました。そして大きくなったなえをうえていました。

ぼくがなつやすみであそんでいるときも、おじいちゃんはお田んぼのみずのみまわりや、くさかりきでくさとりをしています。

あきになって、ちいさかったいねがこがねいろのいねになりました。いよいよぼくのでばんです。おじいちゃんといっしょにコンバインにつて、いねかりを手つだいました。コンバインにつているおじいちゃんのかおは、いつもとちがうしんけんなおでした。

おじいちゃんはぼくのたん生日にしんまいをたべさせたいと、おばあちゃんとなん日もかけていねかりをがんばつてくれました。できたばかりのしんまいは、ぴかぴかにひかつていて、いいかおりがして、とてもおいしかったです。おじいちゃんは、

「ふうがが、うめつていうのが一ばんうれしぐで、まだがんばつてこめをつぐらいる。」  
といっていました。おじいちゃん、おばあちゃん、おいしいおこめをありがとう。おじいちゃん、ぼくが大きくなつたら、ぼくがつくつたおいしいおこめをたべさせるから、それまでげんきでいてね。

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

# ぼくとおじいちゃんのおこめづくり

山形市立千歳小学校一年 佐竹 巧

ぼくのおじいちゃんはおこめをつくっています。だから、ぼくもおてつだいをします。

はるになるとたおこしをします。トラクターでつちをかきまぜると、つちのにおいがしました。ふゆのあいだねているつちが、かきまぜられて目をさましたみたいです。五月になると、たうえをします。たうえきにのせてもらうと、みどりいろのなえがかぜにふかれておどっているみたいできれいでした。みずのなかには、かえるのたまごもあつておもしろいです。

あきになると、たのしみになっていたねかりです。たんぼにいつてみると、きいろいいねにおこめがいつぱいなつておじぎしているみたいでした。かぜがふくと、

サーつとおとがして、みんなでうたっているみたいです。ぼくは、いつぱいごはんがたべられそうだなあとうきうきしました。はじめは、コンバインにのせてもらって、どんだんいねかりをしました。コンバインでかって、のこったところをぼくがかまでちようせんしました。

「こもつて、ねもとのほうをかるんだよ。」

と、おじいちゃんにおしえてもらいながらやってみました。かまでいねをかるとザクザクといいおとがして、たのしくなりました。それに、いなごがいつぱいいました。へびやへびのぬけがらもみつけました。みつけたときはびつくりしたけど、みんなにもみせたいなあとおもいました。

おじいちゃんをつくったおこめはとてもおいしいです。だいすきです。おべんとうの日はおかあさんがキャラベんをつくつてくれます。ごはんがいろんなかおやかたちのおにぎりにへんしんしてたのしいです。ますますごはんがおいしくなります。

おこめをつくるのはたいへんだけど、大きくなつたらおじいちゃんみたいにおいしいおこめをいつぱいつくりたいです。

■全国優秀賞・山形県知事賞■

ご飯粒、のこすなよ。

山形市立西小学校六年 井上 瑞貴

平成二十二年十月、山形県がほこるブランド米「つや姫」の販売にわく頃の出来事です。その年の五月、数年前から体の具合が悪かったじいちゃんが、家族の説得でやっと重い腰を上げて、病院へ行く決心がつかしました。病院のそばには、どこまでも田んぼが広がっていて、丁度じいちゃんと同じくらいの農家の方が、水を引いた田んぼで田植えに追われていました。その日の診察で、じいちゃんは「末期ガン」と診断されました。そのまま入院をしたじいちゃんは、再検査と手術でお腹の中を空っぽにするために、大好きなご飯を食べることができなくなりしました。六時間以上かかった手術に耐えたじいちゃんは、数日後に大好きなご飯の病院食を少しずつ食べられるようになりました。

「やっぱり白いご飯はうまいなあ。」

と、じいちゃんは病室の窓から見える黄緑色の田んぼながめながら言いました。

七月の初め、あまり体調が良くなかったのですが、じいちゃんは退院しました。車の中から、真っ直ぐ空に向かい成長した稲を見たじいちゃんは

「ずいぶん稲ものびたなあ。」

と、つぶやきました。

その夜、お寿司を囲んで、じいちゃんの退院を喜びました。その席で、じいちゃんは

「みなさんにはご心配をおかけいたしましたして申し訳ございませんでした。そして本当にありがとうございます。」

と、敬語で言いました。

「私のじいちゃんなのに、なんだか他人みたいだなあ。」と、思いました。そして私は完全にじいちゃんの病気が治ったと、信じきっていました。ところが、九月になり体のむくみがひどくなり、さっぱり食欲のないじいちゃんは、歩くこともできなくなり、また入院してしまいました。もう田んぼは黄金色に光りはじめていました。それから間もなくの十月の体育の日、じいちゃんは静かに

天国へ旅立ちました。稲刈りの終わったばかりの田んぼ道、じいちゃんは無言の帰宅をしました。家に帰って来たじいちゃんの枕飯に、炊きたての新米のつや姫をあげました。白いご飯が大好きだったじいちゃんは、新米のつや姫のあったかいご飯をどれだけ食べたかったことでしょう。私は体が元気で、なんでもおいしく食べられる幸せをこの時初めて知りました。

また今年も新米の季節がやってきます。一番最初にじいちゃんの仏壇に炊きたてのつや姫をお供えしたいです。昭和五年生まれの、物を大切にした、やさしいじいちゃん。

「ご飯粒、のごすなよ。」  
今でもじいちゃんの口ぐせが、どこからか聞こえてきそうです。

## ■山形県農業協同組合中央会会長賞■

### 「いのち」を育てる

### 農家に生まれて

庄内町立立川小学校六年 笹本 悠奈

わたしたちの家は農家で、お米を作っています。毎年、わたしたちの家族は、おいしいお米を作るために、朝早くから夜おそくまで一生けん命に稲の世話をします。中でも楽しみな季節は春と秋です。

春には田植えをします。わたしの家に親せきの人がたくさん集まってきて、朝早くからみんなで作業が始まります。

「よいしょ。落とさないように気をつけて。」

最初は、育苗器から苗箱を運びます。ちよつとだけ芽を出した苗は、きれいな黄緑色で、かわいらしい赤ちゃんのようです。

「はい。はい。」

約二十人の家族、親せきが一行に並んで、まるでバケツリレーのように、苗箱を手渡していきます。こうやってみんなで小さなビニールハウスを苗箱でいっぱいにしていきます。作業が終わるころには、みんなの顔はあせでいっぱいになります。おいしいお米を作ろうと一生けん命になっている顔は、すごくかっこいいです。みんな、この日のために、会社を休んでまで集まってくるのです。作業が終わって親せきみなでご飯を食べる時には、わたしも一緒になって、楽しくおしゃべりをします。親せきみなで話しながら食べていると、さっきのつかれがどこかに行ってしまう。それに親せきとの絆がますます深まって、「農家っていいな。」って思います。

もう一つ、わたしが好きなのは秋の収穫です。スポ少や習い事のない日は、おじいちゃんやおばあちゃんの手伝いをします。まず初めに、コンバインで刈れない所や田んぼの入り口の稲を、カマを使って手で刈っていきます。たおれている稲は起こして刈ります。力がある作業ですごく面どうです。刈った稲を両手で運ぶと、稲のかおりでいっぱいになります。わたしが運んだ稲は、おじいちゃんがコンバインに入れてくれます。とても危険な

作業なので、絶対にさせてくれません。これらの仕事は簡単に思うかも知れませんが、実際にやってみると、とても大変な作業なのです。わたしは時々しか手伝えないけど、おじいちゃんとおばあちゃんは秋の稲刈りの時期には毎日毎日やっているのです。雨が降りそうな時には、昼ご飯も食べないで作業を続けることもあるのです。がんばり屋で働き者の二人は、わたしの自慢です。

稲刈りをする時、わたしは「おいしいお米になるように」と願いをこめて、カマを使います。それはたぶん、おじいちゃんもおばあちゃんも同じでしょう。みんなの「おいしい、おいしい！」と食べる笑顔を見たいから、がんばっているんだろうなと、わたしはそう思います。だから、新米は、みんなの喜びと苦労と心がつまった、やさしい味がします。米作りは大変な作業の連続です。だけど、「いのち」を育てる農家に生まれ育ったわたしは、とつても幸せです。

■全国優秀賞・山形県知事賞■

# 祖母のひじきごはん

米沢市立第四中学校一年 松壽 大吾

ぼくの祖父は、福島で米を作っています。ぼくの家では、毎日祖父の作ってくれた米を食べています。今まで、一番おいしかったのは、祖母のひじきごはんです。

夏休みに福島の家遊びに行くと、いとこ達が十人集まります。ごはんもたくさん食べるので祖母はよくまぜごはんを作ってくれました。ひじき、ごぼう、にんじん、油あげを煮て、炊いたごはんを混ぜます。味がしみて、とてもおいしかったです。いとこ達がたくさんおかわりするのですが、一杯しか食べないぼくも、三杯おかわりしたこともあります。祖母が福島で作って米沢の家に持ってきてくれたこともあります。しかし、その祖母は五年前に病気で亡くなってしまいました。もうそのひじきごはんを食べることができないのでとても残念です。

祖母はいつも孫達のためにお米を作り、ごはんをたく

さん食べて大きくなってもらうのが楽しみだと言っていたそうです。父は田植えの時には手伝いに行っていました。ぼくはまだ小さかったので、祖母が生きている時に田植えの手伝いに行ったことがあります。残念です。だから、そのうち、父と一緒に祖父の手伝いに行きたいと思っていました。

ところが、昨年の三月に東日本大震災がありました。そして、そのあとに福島第一原発の事故です。祖父母の家は、原発から四十キロメートルのところにあります。一人で暮らしていた祖父は、避難指示がでた時に、郡山まで避難しました。ぼくは、もう祖父はもとの家に住めなくなるのか、祖父の作る米も食べられなくなるのか、とても心配でした。

しばらくして祖父は家に戻りましたが、原発から出た放射線が福島の地面に落ちて、農家は野菜や果物が作れなくなりました。祖父が放射線測定器を買って田んぼの土を測定してみると、やはり、放射線量がとても高かったそうです。

でも祖父はあきらめませんでした。昔、セメント工場です仕事をしていた祖父は、スリーマイル事故の時に、ゼ

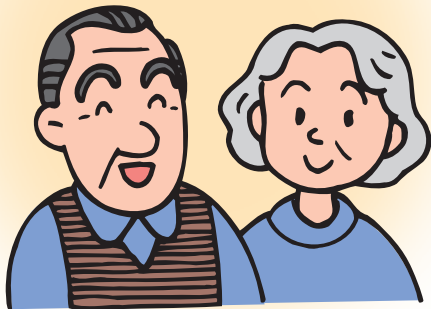
オライトという鉱物が放射性物質を吸着させることを知っていたのだそうです。そこで、ゼオライトの粉を田んぼにまいて、いつも通りに田植えをしました。放射線が検出されてしまうかもしれないけれど、孫たちに食べさせる米を作り続けるという祖母の思いを、ずっと引き継いでいきたかったのだそうです。その話を聞いた時、ぼくは感謝の気持ちでいっぱいになりました。

昨年の収穫の後、農協で米の放射線量の検出が行われました。祖父の米からは、全く放射線物質が検出されませんでした。祖父が一生懸命作ってくれたおかげだと思えました。祖父は家が原発から四十キロメートルしかなかったけれど、近くにある大滝根山が放射線から守ってくれたのだと言っていました。でもぼくは、きっと天国にいる祖母が、ぼく達のために田んぼを守ってくれたのだと思っています。

祖母が生きていたらとても悲しかったであろう原発事故。でも祖父は皆のためにとても頑張ってくれました。ぼくは今年始めて田植えを手伝いに行きました。田植え機に積む苗を運ぶのがぼくの仕事です。田植え機の運転は祖父がしました。ぼくは苗を持って何度も田んぼを

往復しました。思った以上に大変な仕事でしたが、はじめて祖父の力になれたことがうれしかったです。

秋の収穫がとても楽しみです。その時とれた米でひじきごはんを自分の手で作ってみて食べたいと思います。祖母が作ってくれたようにおいしくはできないかもしれないけれど、米を育ててくれた祖父にも食べてもらいたいです。そして祖母にも、毎日ごはんを食べて大きくなったぼくを見てもらいたいと思います。



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

命をつなぐ

米沢市立南原中学校二年 我妻隆太郎

家族に、お米といえば何が合うか尋ねると姉は納豆とお米パン、母は茄子漬けと唐揚げ、父はポテトサラダと日本酒、(僕は焼き肉と寿司)と答えが返ってきます。毎日当たり前のようにお腹一杯食べています。冷蔵庫には余ったお米と作り過ぎたおかずで溢れています。きっとこれが飽食の時代と言うのでしょう。食べ物が溢れる現在で僕は一年に一回、五月八日にしか口にできないものがあります。それは毎年祖母が持ってきてくれる日本一おいしい甘酒です。湯飲み茶碗の下に溜まったお米を人差し指で掬って食べるのが何とも楽しいです。小さい頃は五月八日のお釈迦様のお祭りに行っていたが、最近では忙しくてなかなか行く事は出来ていません。

祖母の家は昔、侍をしていて、寛政三年(千七百九十一年)に地域にある代官所からお釈迦様を守れと言う命

令を受けてからずっと祀られ、お釈迦祭を今現在まで続けています。お釈迦祭の甘酒振舞いは、お堂の中に入り参拝する人達に祖母が作った甘酒を振舞います。祖母の家の隣近所の方々も自分達の家で採れたお米を使って各家ごとの手作り甘酒を持ってきて振舞ってくれます。それぞれ、とろみや味の濃さ、お米の硬さ、甘さなどが違ってどれも美味しいです。飲んでいると温かい気持ちになってほっとします。これはきつとこの集落のお米を使った食文化なのだと思えます。

甘酒の作り方はまず、お米でゆるいお粥を炊き、人肌で冷まします。冷ましたら米麴を混ぜ、炬燵の一番低い温度で約七時間程度温度を保ちます。鍋でお湯を沸かし、作った甘酒の元を入れます。砂糖や塩で味を整えれば甘酒ができます。

どうして甘酒なのかと言うと、お釈迦様の誕生日に空から甘い雨が降り、お釈迦様の体を綺麗に洗い、清めたことから甘酒を振舞う様になったのだそうです。お釈迦様の誕生日より一カ月後にお祭りが行われる理由は祖母が暮らしている地域では雪がたくさん降るため一カ月延ばして行っています。昔は貧しく出産後の母親や子供に



も十分な栄養を与える事が出来ず、亡くなる子供も少なく  
なかつたです。そこで安産の神としてお釈迦様をお祀  
りし、赤ちゃんのために母親の母乳が出るように甘酒が  
振舞われました。コンビニエンスストアに行けば、おに  
ぎり、弁当、おやつが何でも揃う時代に生まれた僕に  
とってはなんとも感慨深い話です。

約二千五百年前から米作りが始まったと言われるが、  
祖先が江戸時代中期から稲作をしていると言うことを思  
うと、お米にはその時代背景と歴史があるのだと強く思  
いました。

子供を守ると言う心の絆を持った人達の中で、祖父母  
がいて、両親がいて、命のつながりがあり、きっと僕が  
生まれてきたのだと思います。学校の先生から食べ物  
粗末にしないようにと言われていたが、余り意識をして  
いなかった気がします。お米を作っている人、料理をし  
てくれる人、そして食べている人の命の尊さを、今回祖  
母と話をして知る事が出来ました。飽食の時代だからこ  
そ、食事の前に言ういただきますの言葉と米一粒を噛み  
締めることができるありがたさを大切にしていきたいと  
思います。



# 作文部門審査講評

山形市立千歳小学校校長 大宮 ととき子

今回の全国コンクールでは、鶴岡市立朝日小学校一年・伊藤風牙さんの「たん生日プレゼントはしんまい」、山形市立西小学校六年・井上瑞貴さんの「ご飯粒、のこすなよ」、米沢市立第四中学校一年・松寄大吾さんの「祖母のひじきごはん」が、見事に優秀賞を受賞しました。三名のみなさん、誠におめでとうございます。

さて、山形県のコンクールには、県内六〇校から三二三点の作品応募があり、心に残る素晴らしい作文に出会うことができました。県審査を行い受賞されたみなさんの中から、ここでは、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会長賞の作品を紹介いたします。

一部（小学校一年生から三年生）

○「たん生日プレゼントはしんまい」（鶴岡市立朝日小学校一年・伊藤風牙・山形県知事賞）

七歳の誕生日に「びかびかのしんまいでごはんをたいてくれました。」という書き出しが読み手をひきつけます。田んぼの水の見まわりや草刈りなどのお米にとつて大切な仕事の様子も見逃さず、大きくなったら、おじいちゃんのようにおいしい米を作ってくれと感しました。作品最後のおじいちゃんから風牙くんへの言葉から、新米のいい香りとともに、家族の温かさを味わうことができます。

○「はくとおじいちゃんのかめづくり」（山形市立千歳小学校一年・佐竹巧・山形県農業協同組合中央会長賞）

おじいちゃんと田んぼに行くのが大好きな気持ち伝わってきました。土のおいを感じ、ねている土が「目をさましたみたい。」と表現しているところが素晴らしいです。緑色のなえが「おどっているみたい。」、秋の田んぼの様子を「おじぎをしているみたい。」「みんな歌っているみたい。」と表現することにより、田んぼへの親しみや実りの喜びが感じられます。

二部（小学校四年生から六年生）

○「ご飯粒、のこすなよ。」（山形市立西小学校六年・井上瑞貴・山形県知事賞）

病気の祖父が病院のまわりの田んぼの様子を気にかける姿を思い出しながら新米を供えている作者のやさしい気持ち伝わってきます。また、山形県がほこるブランド米「つや姫」を祖父にも食べさせてあげたかったと思う作者の心が素直な言葉で表現されています。「ご飯粒、のこすなよ。」という祖父の教えは、ずっと守られてい

くことでしょう。

○「いのち」を育てる農家に生まれて」（庄内町立立川小学校六年・笹本悠奈・山形県農業協同組合中央会長賞）

親せきみんなで力を合わせて田植えをしている様子を詳しく丁寧に表現しています。また、稲刈りの様子については、作者が祖父母をいたわる優しい心で表しているの、読み手の心を温かくしてくれます。米作りは大変な作業だということを実感しながらも、「いのち」を育てる農家に生まれたことを誇りに思っている作者の気持ちが強く伝わってきます。

三部（中学校一年生から三年生）

○「祖母のひじきごはん」（米沢市立第四中学校一年・松寄大吾・山形県知事賞）

福島県に住む祖母が作ってくれた「ひじきごはん」の思い出と、震災後も田んぼを守り米作りをする祖父への思いが重なり合い、とても感動的な作品です。福島が放射線問題で米作りをあきらめかけていた時です。他界した祖母が天国から守ってくれた田んぼで米を作り、また懐かしい「ひじきごはん」を作りたいと、手伝いはじめめる作者。祖父母に感謝する気持ちが、ひしひしと伝わってきます。

○「命をつなぐ」（米沢市立南原中学校二年・我妻隆太郎・山形県農業協同組合中央会長賞）

祖母の家で行われているお釈迦祭で振る舞われる「甘酒」から考えたことをまとめています。昔の貧困の時代に、産後の母親や子どもを守るために「甘酒」が作られたことや、お米が形を変えて命をつなぐ大切なものになっていったことがわかり、現在の飽食の時代に照らし合わせて、食の大切さについて訴えかけている見事な作品です。県学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校と米沢市立第四中学校が、それぞれ受賞しました。おめでとうございます。

みなさんの作文を読みながら、ごはんは、私たちの心と体の栄養であり、生きる力の源であることを再認識しました。また、おいしい米作りへの挑戦と熱意が伝わってきて、とても感激しました。ぜひ、多くの方々に読んでいただけたらと思います。そして、ごはんとお米、さらには日本の農業について、自分の体験を通して考えを深めていただきたいと思います。

# 評 講 査 審 門 部 画 図

東根市立大森小学校校長 元 木 正 史

第三十七回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの図画部門には、県内九九校から七六九点の作品の応募がありました。

ごはん・お米は、私たちが生きるうえで、なくてはならないものです。でも、あまりにも身近で、普段見過ごしてしまいがちです。みなさんから寄せられた作品では、そんなごはんやお米とのかかわりを、思い思いに、そして豊かに表現されていました。

その中から、県審査では、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、県優秀賞、県学校奨励賞の選考を行いました。特別賞を受賞されたみなさんの作品を紹介します。

一部（小学校一年生から三年生）

○「さあ！しゅうかくだ」（尾花沢市立高橋小学校三年・押切零旺さん・山形県知事賞）

黄金色に実った稲にお日さまの光があたり、輝いています。稲を次々に刈り取っていくコンバインの動きに心をひかれたのでしょうか。画面全体を明るい色で表し、中央にどっしりとコンバインをかきました。見る人の視線が自然に中心に向けられ、収穫する喜びの瞬間が、生き生きと表現されています。

○「おいしいおにぎりいただきます」（尾花沢市立尾花沢小学校一年・渡會圭悟さん・山形県農業協同組合中央会会長賞）

大好きなおにぎりを前にしてとっともうれしそうに自分を画用紙の真ん中に堂々と描いています。大きな口からは、早く食べたいなという気持ちがまっすぐに伝わってきます。手前の四個のおにぎりも、とてもおいしそうです。

二部（小学校四年生から六年生）

○「いねかり機に乗せてもらったよ」（尾花沢市立福原中部小学校五年・渡辺成美さん・山形県知事賞）

稲刈りの手伝いに行つて、機械に乗せてもらった時のわくわくする気持ちが伝わってきます。お父さんでしょうか、運転する人の表情が明るく、家族みんなが作業を楽しんでいるようです。稲がたわわに実った様子も細かく描かれ、収穫の喜びが伝わってきます。

○「おにぎりづくし」（高島町立高島小学校四年・日下和也さん・山

形県農業協同組合中央会会長賞）

苦労して自分で作ったおにぎりは、とてもおいしかったことでしょう。色を重ねながら、真剣な表情を見事に表現しています。腕についたごはんつぶは、実際経験したからこそ気づく表現です。背景の表現もよく工夫されており、人物を引き立たせています。

三部（中学校一年生から三年生）

○「収穫」（山形市立第九中学校三年・高橋綾香さん・山形県知事賞）

実りの秋、たわわに実った稲の収穫の一場面を誠実に表現しています。秋の日差しを受けて光り輝く稲と、手塩にかけた稲をしっかりと束ねる姿から、収穫の喜びが伝わってきます。金色の稲、背景の山や村落の色合いが美しく調和し、喜びが強調されています。

○「黄金色の稲穂」（山形市立金井中学校二年・竹田夏奈子さん・山形県農業協同組合中央会会長賞）

刈り取った稲を家族総出でかける様子が、生き生きと表現されています。遠近感を生かした構図、一生懸命に働く人物の一つ一つの動きが画面に変化をもたせ、躍動感あふれる作品となりました。数種類の緑を使った稲の表現が見事に調和し、美しい作品です。

◎また、全国審査で、山形市立第九中学校三年の志田葉月さんの作品「うまぐなれ」は、見事農林水産大臣賞に輝きました。志田さんの作品は、温かい春の日差しの中で、稲一本一本に祈りを込めながら丁寧に手植えをする様子が見事に表現されています。画面の左側に人物を配し、広々とした故郷の風景を描いた構図が、自然の美しさとも米作りの素晴らしさを表しています。特に水に映る風景描写や光の表現は卓越しています。

県学校奨励賞は、尾花沢市立福原中部小学校と山形市立金井中学校が受賞しました。おめでとうございます。

これからも、私たちにとつてなくてはならないごはんやお米「食」や「農」のことを、友達や家族とみんなできちんかき考えていきましょう。そして、自分の思いを、ありのままに絵に表してください。来年も、みなさんの素晴らしい作品と出会えることを楽しみにしています。

第31回	第30回	第29回	第28回	第27回	第26回
<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 原田 咲雪(米沢市) 大池 清士(米沢市) 大道寺 滯(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 佐藤 悠汰(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 榎本江里加(鶴岡市)</p> <p>●優秀賞 伊藤 裕太(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 宮崎 俊也(鶴岡市) 情野 雪海(高島町) 金野 華奈(鶴岡市) 渡部 実佳(最上町) 小野寺千尋(鶴岡市) 沖田 竜馬(米沢市) 有賀この美(鶴岡市) 遠藤 拓実(庄内町) 渡部 香菜(鶴岡市) 尾形 祐佳(鶴岡市) 橋本 美月(米沢市) 那須友賀子(山形市) 後藤 萌(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第一中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 阿部拓悠真(庄内町) 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 後藤 剛(高島町) 渡部 愛(米沢市) 佐藤 麻衣(山形市)</p> <p>●優秀賞 渡部 由夢(高島町) 阿部 理沙(鶴岡市) 高橋 恵美(最上町) 阿部 貴之(鶴岡市) 齋藤 蓮奈(鶴岡市) 渡部 彩絵(鶴岡市) 菅野明日香(高島町) 小林 桜子(山形市) 有賀この美(鶴岡市) 佐藤 拓実(庄内町) 山口 真盛(鶴岡市) 川田美沙樹(山形市) 今野 若奈(鶴岡市) 榎本有紀子(鶴岡市) 富樫 美穂(南陽市)</p> <p>●学校奨励賞 庄内町立余日第二小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 浩司(朝日村) 石山 芽生(最上町) 大湊 希(米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 貴之(櫛引町) 齋藤 玲奈(羽黒町) 阿部 咲輝(朝日村) 佐藤 緑(山形市) 鈴木菜都美(大石田町) 上野由香里(朝日村) 難波 和希(朝日村) 山木 理央(高島町) 杏澤 真佑(最上町) 橋本 大来(最上町) 大浦 沙織(高島町) 齋藤 那千(朝日村) 御橋夏津子(鶴岡市) 武田 奈緒(鶴岡市) 清野 郁(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 平 理紗子(高島町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 奥山 雅生(最上町) 守岡 雄朗(鶴岡市) 工藤 瑞徳(東根市)</p> <p>●優秀賞 石山 加奈(最上町) 菅 風沙(最上町) 伊藤 匠平(最上町) 渋谷 生帆(鶴岡市) 清野 真希(鶴岡市) 今井 大輔(鶴岡市) 菅井美香子(村山市) 五十嵐由香(鶴岡市) 大池 響子(米沢市) 阿達 大和(最上町) 稲垣某里香(長井市) 土方 花重(鶴岡市) 南齋 宏駿(米沢市) 貝田 理沙(山形市) 宮崎加奈子(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立富沢小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 伊藤佐久磨(朝日村) 小野寺寛貴(鶴岡市) 菅原 香織(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 睦美(朝日村) 本間 稚菜(鶴岡市) 安孫子 郁(天童市)</p> <p>●優秀賞 二宮明日香(高島町) 阿部亜紗子(最上町) 大貫 秀平(最上町) 清野 史拓(朝日村) 佐藤 拓夢(鶴岡市) 岸 はづき(最上町) 渋井 彩希(山形市) 二戸 浩太(最上町) 阿部 貴敏(最上町) 秋野 寛斎(鶴岡市) 松田 恵(南陽市) 川崎 成也(南陽市) 清野 郁(朝日村) 中里恵里香(朝日村) 難波 和宏(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 今井 大輔(鶴岡市) 大場 世和(米沢市) 小野寺千賀(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 水谷ひらり(山形市) 結城 智裕(最上町) 渡辺真理子(高島町)</p> <p>●優秀賞 小野寺陽奈(朝日村) 大場たくや(最上町) 鈴木 玲奈(高島町) 後藤なつみ(高島町) 志藤 貴俊(三川町) 大藤 麻由(最上町) 大場 剛(最上町) 和田真由子(鶴岡市) 石山 樹里(最上町) 清野 郁(朝日村) 佐藤 和磨(山形市) 清野 優(朝日村) 清野 舞(朝日村) 遠藤 晃毅(朝日村) 井上 寛子(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>
<p><b>全国</b></p> <p>●優秀賞 大池 清士(米沢市) 大道寺 滯(米沢市)</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●内閣総理大臣賞 伊藤 浩司(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校</p> <p>●優秀賞 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●優秀賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●優秀賞 平 理紗子(高島町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村)</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●全国中央会会長賞 今野絵理奈(鶴岡市)</p> <p>●優秀賞 伊藤佐久磨(朝日村)</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●全国中央会会長賞 庄司 光(藤島町) 本間 公章(温海町)</p> <p>●優秀賞 結城 智裕(最上町) 佐藤 世和(米沢市)</p>
<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 會田 三郎(山形市) 今野美季子(三川町) 齋藤 里沙(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 押野 尚道(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 玉虫 正和(米沢市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 俊貴(鶴岡市) 高橋 翔太(高島町) 小黒 拓真(高島町) 長谷川 舞(鶴岡市) 佐藤 琳(尾花沢市) 東海林 道(尾花沢市) 上林 晃(鶴岡市) 森谷 麻衣(山形市) 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 西塚 祐斗(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 大木 拓也(米沢市) 石川紗己子(米沢市) 佐藤 広康(山形市) 志田 優花(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立福原中小学校 米沢市立第六中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市) 日下部仁美(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 大類 海斗(尾花沢市) 浜田ひかり(南陽市) 木村 友美(山形市)</p> <p>●優秀賞 星川 瑞生(山形市) 石山 詩穂(尾花沢市) 新田 尚太(山形市) 笹原浩太郎(尾花沢市) 佐藤つぐみ(鶴岡市) 加賀 東杜(大石田町) 溝越 舞子(尾花沢市) 藤谷 睦姫(鶴岡市) 鈴木 潤(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 遠藤 瑞紀(山形市) 伊藤 茜(山形市) 神田 涼真(米沢市) 佐藤 勇太(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立高橋小学校 山形市立金井中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 菜純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 笠原 鍾(最上町) 難波 沙英(朝日村) 小野紗由季(山形市)</p> <p>●優秀賞 東海林梨奈(尾花沢市) 倉金 卓美(尾花沢市) 柴崎 日向(尾花沢市) 原田 桃香(尾花沢市) 阿部 風子(尾花沢市) 西尾 昂太(尾花沢市) 荘司 留加(尾花沢市) 斎藤 千佳(朝日村) 七森 結花(朝日村) 佐藤 光(温海町) 古関 彰(山形市) 花等 雄太(山形市) 小玉 愛(上市市) 古川 千夏(山形市) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 笹原 瑞紀(尾花沢市) 乙坂ひかり(温海町) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 蛸井 葉月(鶴岡市) 難波 紗矢(朝日村) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 翼(最上町) 高野 陽希(最上町) 木村さえり(鶴岡市) 高橋 龍星(大石田町) 本間 円(尾花沢市) 佐藤真理絵(温海町) 小内 将弘(尾花沢市) 鈴木 結(藤島町) 國分 雅哉(尾花沢市) 須田 琳子(鶴岡市) 日下部まどか(山形市) 設楽なつみ(山形市) 清野 美香(山形市) 伊藤 歩(山形市) 吉田真優美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 温海町立温海小学校 山形市立金井中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 荘司 留加(尾花沢市) 伊藤 祐太(尾花沢市) 村上 美紀(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 阿部 行成(鶴岡市) 須田 雄飛(鶴岡市) 武田亜沙美(山形市)</p> <p>●優秀賞 庄司 葉菜(尾花沢市) 村岡 孝一(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 渡部 香菜(朝日村) 佐藤 史彬(高島町) 渡辺 大平(尾花沢市) 菅野 慎也(尾花沢市) 有路 里香(尾花沢市) 古瀬 裕真(尾花沢市) 阿部 貴文(鶴岡市) 古川 知美(山形市) 須貝 恵美(山形市) 高島 香織(山形市) 椎名 俊一(山形市) 鈴木 聖美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第三中学校</p>	<p><b>山形県</b></p> <p>●県知事賞 清野 史拓(朝日村) 小林 由佳(山形市) 高島 香織(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 武田 翼(尾花沢市) 須田 雄飛(鶴岡市) 小松 惠梨(山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 奨平(尾花沢市) 佐藤 奨啓(寒河江市) 國分 健太(尾花沢市) 工藤 大周(西川町) 佐藤 秀太(寒河江市) 五十嵐 隼(朝日村) 土屋 趙史(尾花沢市) 安達 美咲(高島町) 倉金 侑香(尾花沢市) 永沢 都(尾花沢市) 田村 里奈(尾花沢市) 村上 美紀(山形市) 須貝 恵美(山形市) 本田 裕子(山形市) 長岡亜由美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>
<p><b>全国</b></p> <p>●農林水産大臣賞 須藤 萌(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p> <p>●優秀賞 會田 三郎(山形市) 今野美季子(三川町)</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●内閣総理大臣賞 三浦 潤平(山形市)</p> <p>●全国中央会会長賞 今野 桃子(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p> <p>●優秀賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市)</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●優秀賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 菜純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●農林水産大臣賞 栗野幸恵恵(山形市)</p> <p>●全国中央会会長賞 伊藤 拓也(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●全国中央会会長賞 岸野 幸志(山形市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 瞳(朝日村)</p>	<p><b>全国</b></p> <p>●全国中央会会長賞 斎藤祐季子(山形市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 奨啓(寒河江市) 倉金 侑香(尾花沢市)</p>

第37回	第36回	第35回	第34回	第33回	第32回
<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 伊藤 風牙(鶴岡市) 井上 瑞貴(山形市) 松畚 大吾(米沢市) ●<b>県中央会会長賞</b> 佐竹 巧(山形市) 笹本 悠奈(庄内町) 我妻隆太郎(米沢市) ●<b>優秀賞</b> 早坂 大翔(大蔵村) 朝倉 愛子(南陽市) 丸山 美優(鶴岡市) 渋谷 結(鶴岡市) 佐藤 光(鶴岡市) 池田 結(庄内町) 會田 空翔(山形市) 森 優奈(米沢市) 佐藤みのり(庄内町) 齋藤 結月(鶴岡市) 須貝 麗夢(米沢市) 小野寺拓海(鶴岡市) 高内 滯奈(山形市) 井上 れな(鶴岡市) 遠藤 美月(鶴岡市) ●<b>学校奨励賞</b> 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第四中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 五十嵐まりあ(山形市) 土門 匠(天童市) 早川 舞乃(山形市) ●<b>県中央会会長賞</b> 大滝 楓人(鶴岡市) 伊藤 琉圭(鶴岡市) 阿部 咲輝(鶴岡市) ●<b>優秀賞</b> 森 壮汰(村山市) 安達 涼乃(大石田町) 阿部 夢叶(最上町) 横山 陽音(米沢市) 大滝 星矢(鶴岡市) 細矢 愛結(村山市) 矢萩 優生(村山市) 曾根 匠人(米沢市) 齋藤 亜美(鶴岡市) 渡部さくら(鶴岡市) 太田 里美(米沢市) 渡部 羅夢(鶴岡市) 森谷 咲耶(東根市) 舟山 愛理(米沢市) 中村梨恵子(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 鶴岡市立朝日大泉小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 寺崎亜寿美(大石田町) 工藤 暢晃(庄内町) 小野 茜(朝日町) ●<b>県中央会会長賞</b> 佐藤 流偉(鶴岡市) 菅原彩花里(鶴岡市) 菅井 滯(朝日町) ●<b>優秀賞</b> 後藤 美空(米沢市) 菅原 菜央(鶴岡市) 鈴木 駿佑(大石田町) 會田 空翔(山形市) 鈴木 花凛(米沢市) 伊藤南奈美(鶴岡市) 長沼龍之介(高島町) 齋藤 健(真室川町) 齋藤 元希(大石田町) 小林 一樹(寒河江市) 井上 玲(米沢市) 大橋 鉄郎(米沢市) 坂野 涼子(米沢市) 江部ひふみ(米沢市) 香澤 佑樹(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 大石田町立大石田小学校 朝日町立朝日中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 伊藤南奈美(鶴岡市) 難波 葵(鶴岡市) 平山 美紀(山形市) ●<b>県中央会会長賞</b> 今野 杏唯(鶴岡市) 菅 瑞季(最上町) 白石みおり(米沢市) ●<b>優秀賞</b> 原田 真白(米沢市) 會田 空翔(山形市) 押切 真依(最上町) 後藤 大空(米沢市) 押野 明純(鶴岡市) 高橋 歩美(高島町) 阿部 杏香(鶴岡市) 安部 航大(高島町) 近藤 舞(鶴岡市) 山下 純平(最上町) 遠藤 ゆい(鶴岡市) 渡部 加菜(米沢市) 高橋 奏(米沢市) 山口 大智(南陽市) 我妻 隆羅(米沢市) ●<b>学校奨励賞</b> 鶴岡市立朝日小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 押野 明純(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 有賀この美(鶴岡市) ●<b>県中央会会長賞</b> 會田 空翔(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 我妻 隆羅(米沢市) ●<b>優秀賞</b> 鈴木 彩(鶴岡市) 井上 秀香(真室川町) 山口 まの(鶴岡市) 伊藤南奈美(鶴岡市) 渡部 寿彦(鶴岡市) 黒井 紀香(鶴岡市) 瀬川 隼矢(庄内町) 金野 華奈(鶴岡市) 保科 拓也(鶴岡市) 尾形 有生(米沢市) 進藤小百合(米沢市) 小野寺奈々(鶴岡市) 安達 景都(鶴岡市) 小野寺千尋(鶴岡市) 小野寺陽奈(鶴岡市) 佐藤 理奈(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 鶴岡市立斎小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 瀬川 隼矢(庄内町) 河野 美波(鶴岡市) 佐藤 楓(鶴岡市) ●<b>県中央会会長賞</b> 後藤 怜(最上町) 上野 艦(鶴岡市) 山口 和華(天童市) ●<b>優秀賞</b> 渡部 寿彦(鶴岡市) 笠原妃奈乃(最上町) 伊藤南奈美(鶴岡市) 結城 諒(最上町) 佐藤麻捺夏(鶴岡市) 五十嵐春奈(最上町) 阿部紗世子(最上町) 菅 風沙(最上町) 引地加奈恵(最上町) 齋藤 史奈(山形市) 櫻井 祥太(山形市) 山口 愛実(南陽市) 久保 朝香(米沢市) 橋本明香里(山形市) 伊藤 香理(鶴岡市) ●<b>学校奨励賞</b> 最上町立向町小学校 鶴岡市立第五中学校</p>
<p><b>全国</b> ●<b>優秀賞</b> 伊藤 風牙(鶴岡市) 井上 瑞貴(米沢市) 松畚 大吾(米沢市)</p>	<p><b>全国</b> ●<b>文部科学大臣賞</b> 小林 千紗(高島町) ●<b>優秀賞</b> 五十嵐まりあ(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 高島町立第二中学校</p>	<p><b>全国</b> ●<b>文部科学大臣賞</b> 瀬川 隼矢(庄内町) ●<b>農林水産大臣賞</b> 石森 泉(鶴岡市) ●<b>学校奨励賞</b> 庄内町立余日第四小学校 鶴岡市立鶴岡第四中学校</p>	<p><b>全国</b> ●<b>農林水産大臣賞</b> 齋藤 隼也(鶴岡市) ●<b>学校奨励賞</b> 鶴岡市立西郷小学校 ●<b>優秀賞</b> 白石みおり(米沢市) 平山 美紀(山形市)</p>	<p><b>全国</b> ●<b>優秀賞</b> 鈴木 彩(鶴岡市)</p>	<p><b>全国</b> ●<b>文部科学大臣賞</b> 金野 華奈(鶴岡市) ●<b>全国中央会会長賞</b> 高橋 理久(村山市) ●<b>学校奨励賞</b> 鶴岡市立羽黒第三小学校 ●<b>優秀賞</b> 佐藤 楓(鶴岡市)</p>
<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 押切 零旺(尾花沢市) 渡辺 成美(尾花沢市) 高橋 綾香(山形市) ●<b>県中央会会長賞</b> 渡會 圭悟(尾花沢市) 日下 和也(高島町) 竹田夏奈子(山形市) ●<b>優秀賞</b> 三浦 匠悟(尾花沢市) 小林 由侑(尾花沢市) 伊藤 拓磨(尾花沢市) 西尾 真央(尾花沢市) 叶野 空和(鶴岡市) 長永 千佳(庄内町) 吉田京次郎(山形市) 柴田 唯斗(天童市) 砂田 千夢(鶴岡市) 東海林玲奈(尾花沢市) 平間 香奈(山形市) 秋葉ひなの(山形市) 渡邊 美佑(山形市) 平吹 百恵(山形市) 鎌田美乃里(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立金井中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 齋藤 匠(東根市) 溝越 真輝(尾花沢市) 大滝 日菜(山形市) ●<b>県中央会会長賞</b> 星川 悠人(尾花沢市) 小幡 あみ(尾花沢市) 半田さつき(山形市) ●<b>優秀賞</b> 越前 快斗(尾花沢市) 尾崎 李果(尾花沢市) 菅原 優極(尾花沢市) 叶野 空和(鶴岡市) 宇田 竜健(庄内町) 東海林玲奈(尾花沢市) 本間 海成(尾花沢市) 小幡 圭佑(尾花沢市) 三浦 幸司(尾花沢市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 進藤 円(山形市) 梅木 泉美(山形市) 高橋 真優(山形市) 横沢 美玖(山形市) 齋藤 光(南陽市) ●<b>学校奨励賞</b> 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立第九中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 柴崎 真人(最上町) 森谷 康平(山形市) 原田 拓夢(山形市) ●<b>県中央会会長賞</b> 加賀 悠大(鶴岡市) 小幡 圭佑(尾花沢市) 荒井瑛絵子(山形市) ●<b>優秀賞</b> 高橋 龍馬(大石田町) 鈴木 来春(尾花沢市) 菅原 実莉(尾花沢市) 五十嵐一樹(尾花沢市) 西塚 優太(尾花沢市) 星 竜成(米沢市) 佐藤 一貴(天童市) 五十嵐友寿(鶴岡市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 押野 尚道(鶴岡市) 大滝 日菜(山形市) 高橋 里沙(山形市) 吉田 心(山形市) 遠藤 千央(山形市) 鈴木 里奈(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 鶴岡市立朝陽第二小学校 山形市立金井中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 丹波 優大(尾花沢市) 森谷 康平(山形市) 鈴木 智佳(山形市) ●<b>県中央会会長賞</b> 菅 佑菜(最上町) 小幡 剛(尾花沢市) 武田可奈子(山形市) ●<b>優秀賞</b> 伊藤日向子(鶴岡市) 廣瀬 佳那(尾花沢市) 平井 堅太(高島町) 宮崎 泰成(鶴岡市) 西尾 文佳(尾花沢市) 海谷 有美(高島町) 佐賀井千里(鶴岡市) 高橋 捷(尾花沢市) 今野杏有子(三川町) 前田 和哉(鶴岡市) 荒井瑛絵子(山形市) 田中 敦子(山形市) 阿部 浩宜(山形市) 岸 由麻(山形市) 三浦 彩希(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第九中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 阿部 篤(尾花沢市) 會田 次郎(山形市) 武田可奈子(山形市) ●<b>県中央会会長賞</b> 菅野 颯(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 岡部 咲(酒田市) ●<b>優秀賞</b> 島津 諒(高島町) 加藤 翔龍(尾花沢市) 佐藤 愛竜(尾花沢市) 藤井美名保(尾花沢市) 佐藤 崇人(鶴岡市) 伊藤 陸(天童市) 今野杏有子(三川町) 藤田 麗(鶴岡市) 井上 和也(尾花沢市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 佐藤 緑(山形市) 渡邊 千咲(山形市) 上林 穂末(山形市) 鈴木 里奈(山形市) 加地 明里(米沢市) ●<b>学校奨励賞</b> 尾花沢市立明德小学校 山形市立金井中学校</p>	<p><b>山形県</b> ●<b>県知事賞</b> 佐藤 永一(尾花沢市) 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市) ●<b>県中央会会長賞</b> 森谷 康平(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 垂石 杏(山形市) ●<b>優秀賞</b> 三澤 悠花(尾花沢市) 鈴木 芹奈(鶴岡市) 本間 智広(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 吉田 周平(尾花沢市) 森 謙太(尾花沢市) 原田 紘(高島町) 菅野 静香(尾花沢市) 香澤 佑樹(山形市) 丸田 駿平(尾花沢市) 羽角 葉(山形市) 島津 桃子(米沢市) 石井 志織(山形市) 橋本明香里(山形市) 中村 実那(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 寒河江市立醍醐小学校 山形市立金井中学校</p>
<p><b>全国</b> ●<b>農林水産大臣賞</b> 志田 葉月(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 山形市立第九中学校</p>	<p><b>全国</b> ●<b>優秀賞</b> 半田さつき(山形市)</p>	<p><b>全国</b> ●<b>農林水産大臣賞</b> 西田 知世(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 山形市立第九中学校</p>	<p><b>全国</b> ●<b>農林水産大臣賞</b> 會田 三郎(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 山形市立南小学校 ●<b>優秀賞</b> 鈴木 智佳(山形市)</p>	<p><b>全国</b> ●<b>内閣総理大臣賞</b> 粟野 梨恵(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 山形市立第九中学校 ●<b>優秀賞</b> 會田 次郎(山形市)</p>	<p><b>全国</b> ●<b>農林水産大臣賞</b> 會田 次郎(山形市) ●<b>学校奨励賞</b> 山形市立南小学校 ●<b>優秀賞</b> 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市)</p>

## 第 37 回

# 「こはん・お米とわたし」作文・図画コンクール審査経過の概要

### ■応募数

作文：323点  
 図画：769点                      合計 1,092点

区分	1部	2部	3部	計
作文部門	51点	61点	211点	323点
図画部門	424点	309点	36点	769点

### ■審査

#### (1) 県予選審査期日

作文部門 平成24年10月19日(金)  
 図画部門 平成24年10月25日(木)

#### (2) 全国コンクールの結果

農林水産大臣賞(図画部門1名)  
 優秀賞(作文部門3名)  
 学校奨励賞1校

#### (3) 県コンクール県審査会期日

(作文・図画部門合同で開催)  
 平成25年1月17日(木)

#### (4) 入選作品数

山形県知事賞 作文3点、図画3点  
 山形県農業協同組合中央会会長賞 作文3点、図画3点  
 優秀賞 作文15点、図画15点  
 学校奨励賞 作文2校、図画2校

### ■審査委員

#### 作文部門(6名)

審査委員長 大宮とき子氏(山形市立千歳小学校 校長)  
 三條久美子氏(上市市立南小学校 教諭)  
 阿部 理香氏(寒河江市立寒河江小学校 教諭)  
 高木 光紀氏(山形市立山寺中学校 教頭)  
 柴崎 宏平氏(山形市立蔵王第一中学校 教諭)  
 羽柴 麻美氏(村山市立楯岡中学校 教諭)

#### 図画部門(4名)

審査委員長 元木 正史氏(東根市立大森小学校 校長)  
 張崎 正裕氏(山形市立南小学校 教諭)  
 関 浩氏(天童市立第二中学校 教諭)  
 横山 和弘氏(寒河江市立陵東中学校 教諭)

### ■表彰式

平成25年2月9日(土)  
 山形市「山形国際ホテル」

年度	部門	1部	2部	3部	合計
7 (第20回)	作文 図画	220 781	300 647	138 23	658 1,451
8 (第21回)	作文 図画	201 639	337 507	152 66	690 1,212
9 (第22回)	作文 図画	63 643	229 461	69 40	361 1,144
10 (第23回)	作文 図画	75 907	137 594	117 47	329 1,548
11 (第24回)	作文 図画	108 869	195 450	108 26	411 1,345
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128
15 (第28回)	作文 図画	87 771	82 589	189 30	358 1,390
16 (第29回)	作文 図画	50 449	157 468	129 29	336 946
17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056
18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	117 418	225 27	386 933
20 (第33回)	作文 図画	58 550	84 412	231 27	373 989
21 (第34回)	作文 図画	77 521	95 376	235 26	407 923
22 (第35回)	作文 図画	68 531	151 308	196 67	415 906
23 (第36回)	作文 図画	56 531	66 290	266 32	388 853
24 (第37回)	作文 図画	51 424	61 309	211 36	323 769

# ◆第37回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領◆

## 1. 趣 旨

このコンクールは、JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することをつうじて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食の重要性を広く周知するために実施します。

## 2. 課 題 (作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

## 3. 応募資格

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。  
特別支援学校の小学部、中学部。

## 4. 応募規格 (枚数・大きさ)

### 【作文部門】

- 1部 小学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)
- 2部 小学校4年生～6年生 (400字詰め原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙4枚以内)

(注)作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください。

(注)本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

### 【図画部門】

- 1部 小学校1年生～3年生
  - 2部 小学校4年生～6年生
  - 3部 中学校1年生～3年生
- B3判 (36.4センチ×51.5センチ) 相当の市販画用紙を使用。画材はとくに制限しません。

## 5. 応募規則

- (1) 課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテンツに応募していない作品に限ります。
- (3) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。
- (4) 図画作品でポスター形式 (標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの) のものは応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表 (作文部門5ページ・図画部門6ページ) を必ず添付してください。
- (6) 作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票 (7ページ) をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。①作品の題名②氏名・性別③学校名・学年・組④学校所在地 (郵便番号・電話番号) ⑤本人住所 (郵便番号・電話番号) ⑥農業協同組合名 (JA名)
- (7) 全国コンクールの各大臣賞および全国農業協同組合中央会会長賞の受賞作品は平成25年3月に返却予定です。山形県コンクールの山形県知事賞および山形県農業協同組合中央会会長賞受賞作品は、協同の杜「JA研修所」に1年間展示後、平成26年2月上旬に返却予定です。なお、作品の著作権は全国農業協同組合中央会に帰属します。
- (8) 本コンクールの作品応募に際して提供された個人情報は、承諾なく第三者に提供しません。ただし、入賞者については入賞発表や表彰式などのほか、広報媒体への露出や作品展示などの広報活動で公表する場合があります。

## 6. 締切日

平成24年10月12日 (金) ※必着

## 7. 全国段階との関連

- (1) 県段階で予選審査を行い、各部門各部門ごとに数点を全国コンクールに推薦します。
- (2) 全国コンクール入賞作品以外 (優秀賞除く) の作品を対象に、山形県コンクール審査を行い、山形県段階の入賞作品を決定します。

## 8. 審査員

### 【全国コンクール】

- 審査委員長 中村 靖彦氏 (東京農業大学客員教授、農政ジャーナリスト)
- 作文部門 真鍋 和子氏 (社団法人日本児童文学者協会常任理事)  
森田 盛行氏 (公益社団法人全国学校図書館協議会理事)
- 図画部門 中川李枝子氏 (児童文学作家)  
ジャニー岩橋氏 (季風会同人、創造美術会副代表・運営委員・審査員)  
小柳津須看枝氏 (日本美術家連盟会員、サロン・ド・トウキョー運営委員)  
岡村泰成氏 (創作画人協会会員・同協合理事・審査員・選考委員)

### 【山形県コンクール】

県教育庁および小・中学校教諭 (①作文部門6名②図画部門4名)

## 9. 賞

### 【全国コンクール】

- (1) 内閣総理大臣賞 作文・図画部門各1名 —— 計2名  
賞状と副賞 (記念盾およびお米券、記念品)
- (2) 文部科学大臣賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名  
賞状と副賞 (お米券および記念品)
- (3) 農林水産大臣賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名  
賞状と副賞 (お米券および記念品)
- (4) 全国農業協同組合中央会会長賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名  
賞状と副賞 (お米券および記念品)
- (5) 優 秀 賞 各部門各部門ごとに15名 —— 計90名  
賞状と副賞 (記念品)
- (6) 学 校 奨 励 賞 内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣  
各賞受賞者所属校 —— 計14校  
賞状

### 【山形県コンクール】

- (1) 山形県知事賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名  
賞状と副賞
- (2) 山形県農業協同組合中央会会長賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名  
賞状と副賞
- (3) 優 秀 賞 各部門各部門ごとに5名 —— 計30名  
賞状と副賞
- (4) 学 校 奨 励 賞 各部門各部門ごとに1校 —— 計4校  
賞状と副賞

## 10. 入賞発表・表彰式 (作文・図画両部門共通)

### 【全国コンクール】

- (1) 入賞発表 平成24年12月3日 (月)
- (2) 表 彰 式 平成25年1月11日 (金)

### 【山形県コンクール】

- (1) 入賞発表 平成25年1月17日 (木)
- (2) 表 彰 式 平成25年2月9日 (土)

## 11. 主 催

農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会／全国農業協同組合中央会

## 12. 受付窓口および問合せ先

- (1) 県内の各農業協同組合を受付窓口とします。
- (2) 県段階は次に問い合わせください。

〒990-0042

山形市七日町三丁目1番16号

山形県農業協同組合中央会 (JA山形中央会)

農業農政部「作文・図画コンクール係」

担当：芦野、三宅 まで

TEL：023-634-8114 FAX：023-633-1754

